



## ネット・AI時代の「考える力」を育てる声かけ

—「AIに聞けばOK」にならないために—

インターネットやAIの進化により、子どもたちは知りたいことをすぐに調べることができるようになりました。とても便利な一方で、「出てきた答えをそのまま信じてしまう」という心配があります。

AIや検索結果は、あくまで「たくさんの情報をまとめた“参考の答え”」です。必ずしも正しいとは限らず、考え方は一つではありません。だからこそ、これからの時代に大切なのは、「答えを知る力」ではなく「考える力」です。そして、家庭でのちょっとした会話が、子どもたちの考える力を育てます。

### 「AIの答え＝正解」ではない

AIはとても便利な道具ですが、AIが出した答えがいつも正しいとは限りません。

- ・情報が古いことがあります。
- ・別の考え方があるかもしれません。
- ・間違った情報が示されることがあります。

学校では、調べた情報をそのまま使うのではなく、「本当にそうかな？」「自分の考えと比べてみよう」などと、「考える学習」を大切にしています。

### こんな声かけが効果的

ご家庭で、お子さんが調べものをしていたら、ぜひこんな声をかけてみてください。

- ・「調べてみて、どう思った？」  
→自分の考えを言葉にするきっかけになります。
- ・「本当にそうなのかな？」  
→情報をうのみにしない習慣が育ちます。
- ・「他の考え方はないのかな？」  
→視野が広がり、深く考える力につながります。



「あなたは どう思う？」  
そんな声かけで、子どもは自分で考えます。

このように、答えを教えるよりも、考えるきっかけを作ることが大切です。

### デジタル時代の「家庭の役割」

これからの時代、子どもたちはAIやインターネットとともに学び、働き、生活していくことになるでしょう。その中で大切なのは、

- ・情報をそのまま信じない
- ・自分で考える
- ・いろいろな見方や考え方を知る

といった力です。

こうした力は、家庭での会話の中で自然に育っていきます。学校と家庭が手を取り合って、子どもたちの「考える力」を育てていきたいですね。



社会に出たら、多様な環境や国の人たちと協力してプロジェクトを進める機会が多くなります。

「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

## きたちゃんコンちゃん

by Toshi



※学校では、生成AIは「北区版生成AI利用ガイドライン」に準じて適切に利用しています。

### 4月1日、「学び未来課」は「教育DX推進課」にアップデートします!

教育DX推進課では、次のような取組を進めます。

- ・学校のICT環境の整備と充実
- ・授業での「きたコン」活用やICT活用の支援
- ・教職員の業務の効率化（校務DX）の推進
- ・教育データの利活用による学びの充実 その他

これらの取組を通して、子どもたち一人ひとりの学びを支え、デジタル時代を主体的に生きていく力を育てていきます。